



# 保育コンシェルジュ便り



戸田市保育幼稚園室発行 特別号 2020. 5月

戸田市では、保育サービスの一環として平成31年4月から「保育コンシェルジュ」を配置し、子育てに関する様々な悩みや困りごと等に対し、保育士の専門性を活かした相談や保育情報の発信を行っております。

また、直接保育の現場で働く方々からの相談等もお受けしております。

電話または来庁による相談を行っておりますので、市役所保育幼稚園室（直通電話 048-443-5611）まで、お気軽にお問い合わせください。



## “家庭での過ごし方に困っています。どうしたらいいの？”

現在、戸田市内保育施設におきましては新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため休園の措置をとり、保育が必要な園児を対象とした特別保育のみを行っております。今回のような対応は初めてのことであり、各ご家庭においても保護者の方の在宅ワーク等により生活の状況が一変し、混乱を抱えていることと思います。子どもたちも思うように戸外で遊ぶこともできず発散できないことでイライラするなど、これまでの姿とは異なる様子を見せていることでしょう。健康的な日常に戻るまで、肩の力を抜いてもうしばらく頑張ってください。

☆子どもが反抗ばかりでイライラするの



### 「泣いたり、すねたりが多くてどう対応したらいいのかしら？」

子どもは大人が思っているより生活の変化に敏感です。不安や甘え、活動の制限へのモヤモヤをうまく表現できずに困らせているのかもしれませんが。大人も自粛生活で心が疲れている為、十分受け止めきれないのでしょうか。おやつ作りに挑戦するなど、親子で一緒に楽しめることを探してみるのも良いですね。ちょっとした心の持ちようでもイライラも解消されるのではないのでしょうか。

☆家の中での生活で煮詰まっている



### 「子どもと家でどうやって関わっていいかわからない。」

座って膝にのせてリズムをとってバスごっこをしたり、立って自分の足のの上に子どもの足をのせて“1・2・1・2…” ペンギンさん、カンガルーのように抱えたりして触れ合って遊ぶことが子どもは大好きです。おもちゃと一緒に製作するのも楽しいですね。新聞ビリビリ！が大好き。ちぎった新聞紙をビニール袋に入れ空気を入れてボールに変身。お部屋が散らかっても気にしない！お片付けもお子さんと一緒に楽しんでください。

☆毎日の食事の準備が大変



### 「朝昼晩 3度の食事作りでたくたです。」

いつも頑張って手作りをしなければいけないと思うと辛いですよね。同じ材料（野菜等）でも切り方を変えるなどして保存。ひと工夫で違った献立になります。冷凍食品やテイクアウトなども上手に利用しましょう。栄養面や手作りにこだわらず、時には視点を変えて普段作らないメニューにも挑戦したりして、家族で食事を楽しんでください。子どもはお手伝いが大好き！です。

☆子育ての相談できるところは？



### 「誰に相談したらいいのかな？こんなことを聞いたら恥ずかしいかな？」

保育幼稚園室保育コンシェルジュにご相談ください。一緒に考えることで、お力になれるかと思えます。一人で抱え込まず、お父さんやお友達、祖父母等身近な方に話を聞いてもらうだけでも気持ちは晴れます。とにかく一人で悩まず、一歩踏み出してみよう。

教えて、保育コンシェルジュ！



は～い！子どもって気づかぬうちに  
どんどん成長しているんですね！



日常生活に潜む事故について、教えてください。  
ちょっと目を離したすきに高いところに上がったり…。  
最近色々なことに興味を持ち、ヒヤッとすることがよく  
あります。どんなことに注意すればいいのでしょうか。

事故は、ほんのちょっと目を離したすきに、あるいは大人が見ている目の前でも起こることがあります。  
特に家庭（室内）では身近な家庭製品による事故が多くあるようです。例えば最近普及しつつある給水器によるやけどや玩具などの誤飲、ドアに指を挟んだりテーブルやソファからの落下等々の事故があげられます。  
常に保護者の注意が欠かせないため、事故防止のための対策や環境の整備が必要になります。  
そこで今回は特に注意をしたい事故について取り上げましたので、お役立てください。

★給水器等によるやけど等★

【ケース1】最近急速に普及していると言われる給水器。温水コックのつまみにつかまりロック解除状態となり熱湯が出てやけどを負ってしまう。

【ケース2】石油ファンヒーターの吹き出し口に近づきやけどをしてしまう。

【ケース3】アイロンや電気ケトル等にふれてしまう。等

給水器等危険な器具には柵などを設置する必要があり、日ごろから子どもが勝手に操作しないようにしておくことも大切です。ちょっと目を離したすきに起きることが多いようです。

★玩具等の誤飲事故★

【ケース1】ままごと道具の食べ物型おもちゃを飲み込む。

【ケース2】動く玩具に使うリチウム電池を飲み込む。

【ケース3】キーホルダーをなめている間に飲み込んでしまう。等

直径3センチ程度の物でも口の中に入れ、飲み込んでしまうこともあるので一定の年齢になるまでは玩具選びも慎重に行いたいものです。

★落下による事故★

【ケース1】ベランダから落下

【ケース2】ソファに寝かせて落下 等

子どもは、どんなものでも足がかりにして登ってしまうもの。足がかりになる物は置かない、窓には鍵をかける等対策をしましょう。

また、特に乳児を一人でソファに寝かせておくのは危険です。傍を離れないよう気を付けましょう。

★湯・水等の溺水事故★

【ケース1】風呂に子どもだけで入っておぼれる。  
残り湯をしておいた風呂蓋の上に乗る落ちる。  
滑って転倒する。等

子どもは数センチでも溺れることがあります。目を離さないことが何よりも大切ですが、残り湯をする時などは重いふたをしたり、ドアに鍵をかける等の対策を検討しましょう。

★その他起きやすい事故★

- 手や足、指がひっかかるはさまる、つまずく
- ウインナーやミニトマト、豆類等の誤嚥
- 小動物にかまれるひっかかる
- フードのひもやかばんが巻き付く 等



家庭や室内での事故については、成長・発達過程では「子どものケガや事故は少なからずある」としながらも、予防や予測で深刻な状況は防ぐことができるかと思います。より「安全・安心」な環境で子育てをしていただけるよう、これからも様々な情報を発信していきます。